

<自立活動>

- ・聴覚障害に関する学習を行い、障害に対する知識を深めたり、自己を客観的に見つめたりすることで、望ましい自己像を形成し主体的に生きていく姿勢を育成する。
- ・グループ指導を通し、コミュニケーション指導を行う。その他、教育相談・進路指導・教科の補充など様々な面から支援する。

5. 言語環境の整備

- ・集会場面や通級学級の指導において、要約筆記で情報保障をする。(入学式、卒業式、全校朝礼、学年朝礼、生徒総会など)
- ・個別指導やグループ指導では、あいまいな言語環境にならないよう、指文字及び手話や文字など視覚メディアを活用する。

6. 理解・啓発

- ・通常学級の生徒に対して、視覚障害について理解を深める。また本校の特色である「ハートフル学習」では、他の障害についても授業を行い、理解を深める。

7. 主な学校行事

- ・保護者会・三者面談・公開授業・体験談を聞く会など